週間情報

№0309（3月30日休刊）
発行日　令和3年3月23日
発行所　全国消防長会
　　一般財団法人全国消防協会
担　当　企画部企画課　03(3234)1321

消防本部の動き

行　　事

◆　地元建設業者と「消防訓練場所の確保の協力に関する協定」を締結

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和３年３月３日（水）、地元企業の太啓建設株式会社と「消防訓練場所の確保の協力に関する協定」を締結しました。

これは、解体前の建物を消防訓練場所として提供してもらう内容で、地元の民間業者とこのような協定を締結することは愛知県内で初めての取り組みとなります。

協定締結式では、山内消防長から「今回の協定を締結したことによって、訓練場所が安定して確保できるようになり、隊員の能力向上につながると考えています。感謝申し上げるとともに、今後も市民の安心・安全を守るために一層努力していきます。」とお礼を述べました。

【協定締結式の様子】

◆　「花街　京都嶋原の置屋　末廣屋」に感謝状を贈呈！

京都市消防局（京都）

京都市消防局では、春の火災予防運動の初日である令和３年３月１日（月）、広報ポスターに出演いただいた「末廣屋」の皆様に感謝状を贈呈しました。また、同日、当消防局の庁舎前で太夫道中をご披露いただきました。

「末廣屋」は、「花街　京都嶋原」の置屋です。末廣屋に所属している葵太夫（あおいたゆう）さんが１月１９日生まれ、双子の禿（かむろ）　美羽（みう）さん、里音（りの）さんが１１月９日生まれということで消防の“１１９”とのご縁により、今回、ご出演いただくことになりました。

掲出したポスターは、市民から問い合わせが寄せられたほか、メディアにも取り上げられるなど非常に高い注目を集め、火災予防の推進に大きく貢献しました。

【感謝状贈呈後の記念撮影】

【庁舎前での太夫道中の様子】

◆　消防記念日表彰式を実施

池田市消防本部（大阪）

池田市消防本部では、令和３年３月５日（金）、火災予防にご尽力いただいた近畿中央ヤクルト株式会社池田センターに対し、消防行政推進功労者として表彰を行いました。

同センター所属の配達員には、昨年の秋に引き続き春季全国火災予防運動でも「ヤクルトレディＰＲ隊」として火災予防の広報業務に尽力いただいております。

具体的には、ヤクルトレディの使用車両や営業バックに火災予防のＰＲポスターを貼付けするとともに、住宅用火災警報器についての広報チラシなどを活用して積極的に広報をしていただいています。

【表彰式の様子】

訓練・演習

◆　警防総合訓練を実施

埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和３年２月１５日（月）、２２日（月）、３月１日（月）の３日間、久喜消防署屋外訓練場において、１７署所延べ２７３名の職員を対象に、指揮隊、消防隊、救急隊及び救助隊（計６９隊）と指令担当職員が警防総合訓練を実施しました。

この訓練は、「大規模な地震発生により大型複合商業施設が一部倒壊し火災が発生、多くの負傷者が発生した」との想定で、詳しい内容は明かさずに「指揮統制・情報収集」、「中継送水・火災防ぎょ」、「高所・狭隘空間からの救出、救助」、「多数傷病者対応・現場救護所設営運用」、「災害現場での報道対応」などの項目を含めた総合的な内容として実施しました。また、評価員を配置して、各部隊の活動内容についての達成度や安全性、確実性などを評価し、訓練終了後にフィードバックを行いました。

今回の訓練や今年度に実施した各種訓練及び研修等の結果を踏まえ、各部隊が連携を強化し、新型コロナウイルス感染症のリスクと向き合いながら組織全体の災害対応能力向上を図ることができました。今後も、住民の安心・安全のため、継続して日々訓練に励んでまいります。

【訓練の様子】

◆　～コロナに負けるな～　病院でブラインド型火災想定訓練を実施

志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、春季火災予防運動期間の初日となる令和３年３月１日（月）、管内の病院において火災想定訓練を実施しました。

「コロナ禍でも火災は起きる」を合言葉に、感染防止対策を徹底する一方で、可能な限り実践的な訓練ができないかと、当消防本部と病院で相互に「新しい訓練方式」を模索し、協議を重ねた結果、今回のブラインド型訓練の実施に至りました。

また、コロナ禍に潜在する火災危険を再確認してもらう目的で、「コロナ」と「火災予防」という２つのワードを並べて病院の窓に掲示し、市民に向けて注意喚起を行いました。

【訓練の様子】

◆　救急総合シミュレーション訓練を開催

廿日市市消防本部（広島）

廿日市市消防本部では、令和３年３月３日（水）、廿日市消防署において、救急総合シミュレーション訓練を実施しました。

この訓練は、企画・運営及び救急教育における指導者側の活動評価能力と指導力の向上を図ることを目的として行ったもので、各消防署から代表として参加した救急隊が日ごろの現場活動や訓練の成果を発揮しました。当日は、指導救命士の進行管理により、ＣＰＡ、ショック、低血糖、外傷及び感染対策の５症例を想定した訓練を行いました。

今後も、同様な訓練を通じて、救急隊の知識・技術の向上のみならず、救急隊員教育を担う指導者の育成にも力を注ぎ、さらなる発展を目指してまいります。

【訓練の様子】

◆　海抜１８０ｍのミッション！　～春季火災予防運動～

平塚市消防本部（神奈川）

平塚市消防本部では、令和３年３月４日（木）、「海抜１８０ｍのミッション！」と称し、高麗山公園（通称　湘南平）において、春季火災予防運動の一環として消防訓練を実施しました。

全国で山火事や枯草火災が多発している中、昼夜を問わず多くの観光客などが訪れる湘南平で、レストハウス関係者や地域住民の協力を得て、１１９番通報、初期消火、避難誘導、消防機関のはしご車による救出・放水を行い、関係者及び市民の防火意識の高揚を図ることができました。

【訓練の様子】

そ　の　他

◆　表彰伝達式を実施　～火災予防作品最優秀賞～

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和３年３月１日（月）、令和２年度火災予防作品最優秀賞の表彰伝達式を実施しました。

今回の表彰では、山口県火災予防作品「ポスターの部」において、小学生の部「火災報チキンくん」と中学生の部「大丈夫！１１９番が君を守る」の２作品がそれぞれ最優秀賞（山口県知事賞）に選ばれ、冨岡消防長から２名に賞状を手渡しました。最優秀賞は、岩国地区では初めての受賞であるとともに、小学生と中学生の両部門でダブル受賞という快挙となりました。

【表彰伝達式の様子】

◆　救急救命功労者に感謝状を贈呈

湖西市消防本部（静岡）

湖西市消防本部では、令和３年３月３日（水)、人命救助に貢献された男性に対し、消防表彰式を行い、消防長から感謝状と記念品を贈呈しました。

この事案は、令和３年１月２７日（水）午前１０時２５分ころ、管内の国道を自家用車で走行中の男性が、対向車線を走行中の普通乗用車の異常走行及び運転手の異変に気づき、自家用車から降り、普通乗用車へ乗り込み、車両を停止させました。運転手の女性に呼びかけても反応がなかったことから男性自ら１１９番通報を行うとともに、女性を車外に出し、路上で救急隊が到着するまでの間、口頭指導に基づいた胸骨圧迫を実施しました。その後、到着した救急隊に引き継がれた女性は一命を取り留め、数日後、病院を退院し社会復帰をされました。男性の危険を顧みない勇気ある行動により、尊い命が救われました。

【消防表彰式の様子】

◆　消防協力者へ感謝状を贈呈

北広島町消防本部（広島）

北広島町消防本部では、令和３年３月５日（金)、消防協力者１名に対し、消防長より感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和３年２月２１日（日)、高齢者宅に介護福祉士が訪問介護に訪れた際、建物内の異臭に気付き、建物内に入ると居間の電気こたつから白煙が上がっているのを発見し、直ちに台所にあった食器用ボウルに水をくみ初期消火を実施して火災の延焼拡大を未然に防ぐことができたものです。

消火用具が近くに無い中、機転を利かせた迅速・的確な初期消火により火災の被害を最小限に抑えることができました。

【贈呈後の記念撮影】

◆　家電量販店などと連携した火災予防

高崎市等広域消防局（群馬）

高崎市等広域消防局では、令和３年３月１日（月）から７日（日）までの春の火災予防運動期間中、管内の大手家電流通協会加盟事業所や高崎市等広域防火管理者協会加入事業所の家電量販店など（９事業所）で、店舗利用者の目にとまりやすい入口付近の手指消毒剤設置箇所に火災予防広報用リーフレットを掲示していただきました。

作成したリーフレットは、住宅用火災警報器の設置率の向上を図ることを目的としたものです。住宅用火災警報器を設置することが義務である旨を分かりやすく記載することで、家電販売店を訪れた方にその場で購入していただけることも想定した広報活動となっています。

今後も継続した広報活動に協力していただけるよう、コロナ禍においても関係機関との連携は「密」にしていきます。

【大手家電流通協会加盟事業所に設置している様子と掲示したリーフレット】

【高崎市等広域防火管理者協会加入事業所にリーフレットを設置している様子】

◆　高齢者専門宅配弁当の配達員とともに火災予防運動ＰＲを実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和３年３月１日（月）から７日（日）までの春季全国火災予防運動期間中、高齢者専門宅配弁当の配達業者である「宅配クック１２３」の協力を得て、配達車両に「火災予防運動実施中」の掲示を行いました。

また、「宅配クック１２３」の利用者に対し、当消防本部で作成した火災予防のチラシを配布していただくなど、同社との連携は初めての試みではありましたが、住民に広くアピールすることができました。

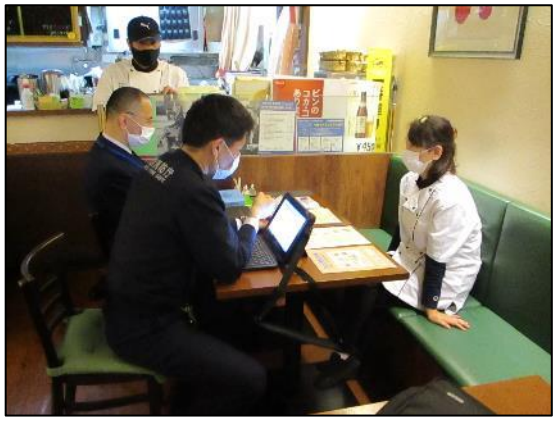
今後も継続的に広報を実施し、地域住民の防火意識の向上を図り、安全・安心のために努めてまいります。

【車両への掲示及びチラシ配布の様子】

◆　デジタルシフトで効果的・効率的な査察業務

東京消防庁（東京）

東京消防庁町田消防署では、令和３年３月１日（月）から７日（日）までの春季全国火災予防運動期間中、小田急線及びＪＲ町田駅周辺で、査察出向時などに庁舎外で活用できる端末を用いた飲食店等一斉指導を行いました。



【飲食店等一斉指導の様子】

この端末は、令和３年２月の当庁のシステム更新により導入され、今回、当消防署で初めて活用したものです。これを使うことで登録された最新の届出状況等を出向先にいながらリアルタイムで確認することができ、効果的な指導ができました。

関係者からは、「パソコンで当店の消防の訓練の実施状況等を調べてもらい、何をいつまでにやればいいか、具体的でわかりやすかった。」との声がありました。

今後も、社会全体でＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいく中、デジタルシフトを一層推進し、効果的・効率的な査察業務を行ってまいります。

◆　新しい形の出前広報実施中！

奈良市消防局（奈良）

奈良市消防局では、令和３年３月１日（月）から７日（日）までの春季全国火災予防運動期間中、コロナ禍のソーシャルディスタンスを考慮した新しい試みとして出前広報を実施しました。

これは、市内の大型ショッピングセンター駐車場を借用し、車載マイクを使用して広報を行うものです。住宅用火災警報器の必要性及び適切な維持管理方法や新型コロナウイルス感染症の感染予防対策用アルコール消毒液の火災予防上の取り扱いなどをショッピングセンター利用者に呼びかけました。

住民の方が駐車場や店内出入口付近で立ち止まって耳を傾けていただく姿もありました。今後も、感染予防と予防広報の両立を図りながら実施してまいります。

【出前広報の様子】

◆　「明るい明日のために」　動画を公開

福山地区消防組合消防局（広島）

福山地区消防組合消防局では、令和３年３月８日（月）、住宅用火災警報器設置維持促進ソング「明るい明日のために」を当消防組合公式ＹｏｕＴｕｂｅで公開しました。

この動画は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から街頭広報等の啓発活動を行うことが困難な状況のため、住宅用火災警報器の設置率の向上を図ることと設置後の維持管理について広く住民に知ってもらう目的で作成したものです。

当消防組合のＨＰでは、楽譜や音源をダウンロードすることもできるようになっていますのでぜひご覧ください。

【動画のひとコマ】

◆　横浜市保土ケ谷消防団　５年連続消防団員充足率１００パーセント達成！

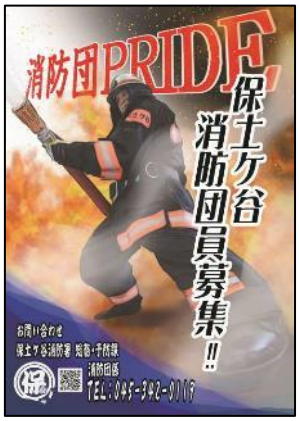
横浜市消防局（神奈川）

横浜市保土ケ谷消防署では、令和３年３月１０日（水）、消防団員充足率１００パーセントを達成したことを地域情報紙等に発表しました。当消防署では、平成２８年度に消防団員充足率１００パーセントを達成してから今年度まで５年連続の達成となっています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大で消防団活動が制限される中、消防団員の発案によってデザインされたポスターやチラシを区内に掲出するとともに、ホームページやＳＮＳを活用した情報発信を定期的に行うことで、効果的な団員募集活動を行うことができました。

来年度も消防団員充足率１００％を目指して様々なチャレンジをしてまいります。

【左／保土ケ谷消防団長　右／保土ケ谷消防署長】



【消防団員発案の募集ポスター】

国 等 の 動 き

消防庁通知等

◆　新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための防疫等作業手当の特例に係る適切な対応について　（消防消第４９号、令和３年３月４日）

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、消防行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
また今般の新型コロナウイルス感染症の対応にご尽力いただき感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための防疫等作業手当の特例の運用に係る状況について、総務省自治行政局公務員部給与能率推進室より依頼した「新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための防疫等作業手当の特例の運用に係る状況調査（第２回）の実施について」（令和２年 12 月 15 日付け総行給第 60 号）における調査結果から、消防本部を有する市町村及び一部事務組合等を抽出し、別紙のとおり取りまとめましたので送付いたします。（別紙省略）

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210304_syoukyu_49.pdf）に掲載されています。

連絡先
消防庁消防・救急課　阿部、永峯、若杉
電　話：03-5253-7522
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

◆　新型コロナウイルス感染症対策本部（第５７回）等の開催について（情報提供）　（事務連絡、令和３年３月８日）

消防庁消防・救急課から各都道府県消防防災主管部（局）、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和３年３月５日、政府においては、「新型コロナウイルス感染症対策本部（第５７回）」が開催されました。また、これに伴い、総務省においても「第７３回新型コロナウイルス感染症消防庁対策本部」を開催いたしました。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/0308jimurennraku.pdf）に掲載されています。

連絡先
消防庁消防・救急課　阿部、永峯、若杉
電　話：03-5253-7522
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

◆　消防学校における実践的訓練施設の整備の推進について

（消防消第５３号、令和３年３月９日）

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部（局）、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

全国の消防本部において、職員の大量退職及びこれに伴う新規採用者の大幅な増加がみられる中で、今後、職員に対する教育訓練がこれまで以上に必要になることを踏まえ、「消防学校における教育訓練に関する検討会報告書（以下「報告書」という。）」（平成 27 年３月 25 日公表）において、実践的訓練施設の充実が求められました。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210309_syoukyu_53.pdf）に掲載されています。

連絡先
消防庁消防・救急課　教養係
永峯、若杉
電　話：03－5253－7522
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

◆　緊急事態宣言の延長等に伴う特定都道府県における催物の開催制限、施設の使用制限等にかかる留意事項等について（情報提供）

（事務連絡、令和３年３月１０日）

消防庁消防・救急課から各都道府県消防防災主管部（局）、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室から、令和３年３月５日付け事務連絡「緊急事態宣言の延長等に伴う特定都道府県における催物の開催制限、施設の使用制限等にかかる留意事項等について」が別紙のとおり発出されましたのでお知らせいたします。（別紙省略）
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/0310jimurennraku.pdf）に掲載されています。

連絡先
消防庁消防・救急課　阿部、永峯、若杉
電　話：03-5253-7522
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

◆　沿道飲食店等の路上利用に係る特例措置の期間の延長に伴う対応について

（事務連絡、令和３年３月１２日）

消防庁消防・救急課、予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため、沿道飲食店等の路上利用については、道路占用許可の特例措置が講じられているところですが、今般、国土交通省道路局長から各地方整備局長等に対し、別添１の「「新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための沿道飲食店等の路上利用に伴う道路占用の取扱いについて」の一部改正等について」（令和３年３月 12 日付け国道利第 35 号）が発出され、令和３年９月 30 日まで、同特例措置の期間が延長されることとなりました。（別添１省略）
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210312_yobou_2.pdf）に掲載されています。

消防庁消防・救急課警防係
担当：喜多、平田
TEL：03-5253-7522
消防庁予防課予防係
担当：桒原、吉田
TEL：03-5253-7523

◆　首都直下地震における緊急消防援助隊アクションプランの改定について

（消防広第８２号、令和３年３月１２日）

消防庁長官から各都道府県知事あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素は、緊急消防援助隊の運用及び体制の整備等に御尽力を賜り感謝申し上げます。
平成 31 年３月８日、緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画（平成 16 年２月６日消防震第９号。以下「基本計画」という。）において航空指揮支援隊及び航空後方支援小隊が新たに制度化されたことや、統括指揮支援隊及び航空消防隊の最新の運用状況等を踏まえ、下記のとおり、首都直下地震における緊急消防援助隊アクションプラン（平成 29 年３月 29 日消防広第 90 号。以下「首都直下ＡＰ」という。）を改定しました。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210312_kouiki_1.pdf）に掲載されています。

消防庁　国民保護・防災部　防災課
広域応援室　広域応援企画係

鈴木補佐・入澤係長・田中事務官・古波（ふるは）事務官

電　話　０３－５２５３－７５２７
ＦＡＸ　０３－５２５３－７５３７
E－mail：c.furuha@soumu.go.jp

情報提供

◆　冊子「国民保護とＣＢＲＮＥ災害対策Ⅻ」のご紹介（ご希望者への無料頒布）

ＮＰＯ法人　ＮＢＣＲ対策推進機構

この度、ＮＰＯ法人　ＮＢＣＲ対策推進機構は、日本宝くじ協会の社会貢献広報事業の一環として、助成金を活用し冊子『国民保護とＣＢＲＮＥ災害対策Ⅻ』（令和３年２月発行）を作成いたしました。

この冊子は、例年各県と弊機構が共催で開催する危機管理フォーラム等の場で参加者に配布する目的で作成いたしましたが、昨今の新型コロナウイルス蔓延のため、当分の間、大人数の集まるフォーラム等の開催は見込めず、冊子の配布もままならない状況です。

現在、数百部の在庫がございますので、ご希望の皆様へ送料等一切無料でお届けすることといたしました。
ご希望があれば、メールにてお申込みください。本冊子が、皆様の業務の参考になれば幸いです。

１　冊子概要

⑴　大規模テロ発生時の多機関連携の重要性について
元内閣危機管理監、元警視総監　伊藤哲朗

⑵　国民保護措置と危機管理　－国、県、市町村及び住民の役割－
元総務省消防庁国民保護・防災部長　幸田雅治

⑶　大規模テロにおける初動と連携のために（パネルディスカッション）

⑷　国民保護共同訓練（消防庁資料）他

２　連絡先等（頒布希望者）

⑴　申込手段：Ｅ－ｍａｉｌにてお申込みください。（電話不可）
（お問い合わせもメールでお願いいたします。・・・テレワーク対応中）

⑵　申込み先：info@nbcr-taisaku.com
ＮＢＣＲ対策推進機構事務局　担当：吉田、阿部、益田

⑶　申込み時の必須事項
ア　件名：「国民保護１２号希望」としてください。
イ　お届け先（受取人）：所属、氏名
ウ　お届け先住所：郵便番号付記ご住所
エ　お届け先電話番号：市外局番から、内線があれば内線番号まで
オ　ご希望部数：２５部が１単位ですので２５の倍数でお願いいたします。

⑷　冊子代、送料とも一切必要ありません。
但し、在庫が無くなり次第締め切りとさせて頂きます。

※皆様からのご連絡をお待ちいたします。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事
②知識・技術の伝承―教えて！消防技術―
③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報№０１１７又は機関誌「ほのお」２０１９年４号（４／２５発刊）３３ページを参照願います。
TEL：03-3234-1321　機関誌「ほのお」担当：企画課　田島
原稿データは、kikakeikaku@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

・文章は、Word で１５０文字程度（１６０文字以内）で作成をお願いします。
・写真は、Word に貼り付けず、JPEG 画像データを１枚送付してください。
TEL：03-3234-1321　機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課　田中
原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。
※添付ファイルの容量が５ＭＢを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

記事の投稿に関する注意点

・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
・文章は、Word で２００字～４００字程度で作成をお願いします。
・写真は、１枚～２枚を Word に貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）
・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。
TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課　菅原
原稿データは、weekly@fcaj.gr.jp に送信願います。